

# 「豊かな人間性を育み、生徒一人ひとりの個性の伸長を図る キャリア教育はどうあればよいか」

岩手県立紫波総合高等学校

## 1 はじめに

本校は総合学科高校として8年目を迎えた。2年次より進路希望に応じて系列及び科目選択をして学習を進めている。現在、「人文・自然」、「ライフデザイン」、「情報・経済」、「福祉・健康」、エコロジーフード」の5系列を設定している。右表は、今年度の系列別生徒数である。1年次においては、現在の希望人数を表している。

表：系列ごとの生徒数（1年次は来年度の希望調査より）

系列 \ 年次	1年次	2年次	3年次
人文・自然	(49)	52	49
ライフデザイン	(40)	34	34
情報・経済	(38)	37	36
福祉・健康	(25)	24	24
エコロジー・フード	(40)	39	30
計	192	186	173

本校のみならず総合学科高校では、1年次に必修科目「産業社会と人間」の中心に入学時よりキャリア教育が開始する。今回、「産業社会と人間」、「インターンシップ」、「総合的学習の時間」で進めている本校のキャリア教育について研究に取り組んだ。

## 2 「産業社会と人間」

現行学習指導要領によると、「産業社会と人間」について「産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒の主体的な各教科・科目の選択に資する」として、以下の3つの内容について指導するよう明記している。

- ・社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成
- ・我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察
- ・自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

### (1) 年間指導計画（別紙参照）

### (2) 今年度の実施と課題

- ・社会人講師による講演会（7回）、企業見学（1回）上級学校見学（1回）など職業観や進路意識の向上に結びついている。
- ・進路意識が薄い生徒が多い。
- ・科目選択、系列選択の時期が早すぎる。
- ・指導が年次にゆだねられている部分がある。
- ・担当者の力量が展開に影響がでる。（キャリア教育を担当する力量、多様な専門性）

### 3 「インターンシップ」

(1) 目的 職場体験を通じ、職業選択の能力や職業意識の高揚・育成を図る。また、就業体験を経て、「仕事とは何か？社会とは何か？自分の適性は何か？」を知る。

(2) 期間 夏季休業中の2～3日間

(3) 参加生徒 2年次の就職希望者 (91名/94名)

3年次の就職希望者 2名

計 93名

※矢巾町高校生インターンシップ参加者

矢巾町内10事業所

⇒ 2年次生 (13名)

※紫波町高校生インターンシップ参加者

紫波町内25事業所 矢巾町内2事業所

⇒ 2年次生 (78名) 3年次生 (2名)

(4) 実施後の反省及び改善事項

1) 計画的な事前指導の実施

・参加生徒への事前指導を念入りに実施したことは良かったが、希望者が前年度より2倍強となり、生徒の希望職種と実習先事業所とのミスマッチが生じた。

⇒ 生徒の希望職種を早い段階に把握するとともに、事業所との打ち合わせを今まで以上に密に行う。

2) 事後指導の徹底

・インターンシップの経験を今後の学校生活に及び進路選択に生かすために、事後指導を4回実施し、実習を振り返らせた。

・各事業所ごとに参加者から1名ずつ代表を選出し、発表会を実施した。

### 4 「総合的学習の時間」

本校では、1年次に「自然環境と人間」(1単位)、3年次に「課題研究」(2単位)を実施している。3年次の2単位は「課題研究」が中心であるが、この時間内で年間5回進路ガイダンス等の進路学習を取り入れている。

### 5 おわりに

本校では、1年次の「産業社会と人間」で学習した内容が2年次3年次と継続して生かされ切れていないことが浮き彫りになった。これを改善するために、1年次に「総合的学習の時間」1単位分として開講してきた「自然環境と人間」を今年度で閉講とし、来年度よりこの1単位分を2年次で本来の「総合的学習の時間」として実施し、継続的に進路学習を行うこととした。これにより、キャリア教育の核となる教科がはっきりとする。総合学科では、早期に目的意識を持たせるような教育が必要である。生徒の安易な科目選択をさせないためにも、教職員がキャリア教育や職業教育を十分に理解し指導にあたることを求められる。生徒に確かな学力を身につけさせ、地域、関係団体と連携を強化しながら、今後ともキャリア教育・職業教育にあたっていきたい。

# 平成23年度「産業社会と人間」年間実施計画

木曜日5・6校時実施(1年次)原則履修科目

岩手県立紫波総合高等学校

	月	日	実施内容	学習内容
前期 中間	4	21	総合学科オリエンテーション	総合学科・産社について知る。自分の夢について。
		28	携帯電話マナー教室	NTTドコモの方から、携帯電話のマナーについて学ぶ。
	5	12	科目選択ガイダンス①	5系列について系列担当者より全体説明。
		19	進路ガイダンス・自分史	進学・就職の心構えや計画の立て方。自分の15年史。
		26	社会人講師講演会①	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
	6	2	社会人講師講演会②	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
		16	上級学校見学会準備	見学会についての説明・準備
30		上級学校見学会	5つのコースに分かれ、学校見学。	
前期 期末	7	14	科目選択ガイダンス②・個人面談・科目選択	5系列の調整・個別面談。科目選択用紙の提出(最終)
		21	保健講話	外部講師による性に関する保健講話
	8	18	社会人講師講演会③	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
		25	職業レディネステスト	職業レディネステストと結果表の作成。
	9	1	望ましい職業観①(美容師・警察官)	職場への適応、望ましい職業観について考える。
		15	社会人講師講演会④(就職支援員)	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
		29	企業見学事前指導	見学の意義と心構え・事前学習(見学企業について知る)。
後期 中間	10	6	企業見学	企業・施設等をコースに分かれて見学。
		20	企業見学感想文	見学した企業に礼状を送る気持ちで感想文を書く。
		27	社会人講師講演会⑤	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
	11	10	望ましい職業観②(保育士・漫画家)	職場への対応、望ましい職業観について考える。
		24	社会人講師講演会⑥	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
後期 期末	12	1	在学中の先輩と語る会(就職編)	これまでの取り組みや進路決定へのアドバイスを3年次から聞く。
		8	在学中の先輩と語る会(進学編)	これまでの取り組みや進路決定へのアドバイスを3年次から聞く。
		15	個人面談・冬季休業中課題説明	職業人インタビューの行い方の説明。
	1	19	職業人へのインタビュー発表	ワークシートの作成。(各クラス毎の発表会)
		25	課題研究発表会見学	3年次の課題研究発表会見学。2年後の参考にする。
	2	2	社会人講師講演会⑦(マナー講座)	職業人の体験を聞く、感想文を書く。
		9	クラス面談・考査対策	個人面談・最後の考査に向けて対策を立て勉強する。